

地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	道営幹線	
関係市町村	北海道樺戸郡浦臼町		事業主体	北海道	
事業目的	<p>本地区は、北海道樺戸郡浦臼町に位置し、石狩川流域に広がる農業地帯であり、水稻を中心として小麦やそばを組み合わせた営農が展開されている。</p> <p>かんがい用水の取水源は国営事業により整備された浦臼揚水機場及び浦臼幹線用水路で、本地区において整備対象としている道営幹線用水路は、昭和41年から48年に実施された道営かんがい排水事業浦臼地区で造成され、現在に至るまで浦臼土地改良区により適切に維持管理されてきた。</p> <p>しかし、供用開始から50年以上が経過しており、老朽化が著しく、目地からの漏水や側壁の変形、路線の不同沈下(土砂堆積)も確認され、深刻な機能低下が生じている。</p> <p>これまで、災害や経年変化による変状に対しては部分的な補修や改修によって対応してきたが、通常の保守点検では対策が困難な状況となっている。</p> <p>このため、本事業により機能診断結果に基づく更新整備を実施し、地域の基幹的な水利施設の機能維持を図る。</p>				
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期	
	482ha	40戸	1,900百万円	令和8～14年度	
	主要工事	農業用排水施設用水路 2km			
	関連事業	なし			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B/C	算定方式	
	9,910百万円	3,934百万円	2.51	総費用総便益比方式	
概要図	別添のとおり				

出典：道営幹線地区土地改良事業計画概要書（北海道空知総合振興局産業振興部調整課作成）

（注）総費用とは、当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用を、評価年度における価値で評価した額である。

概 要 図

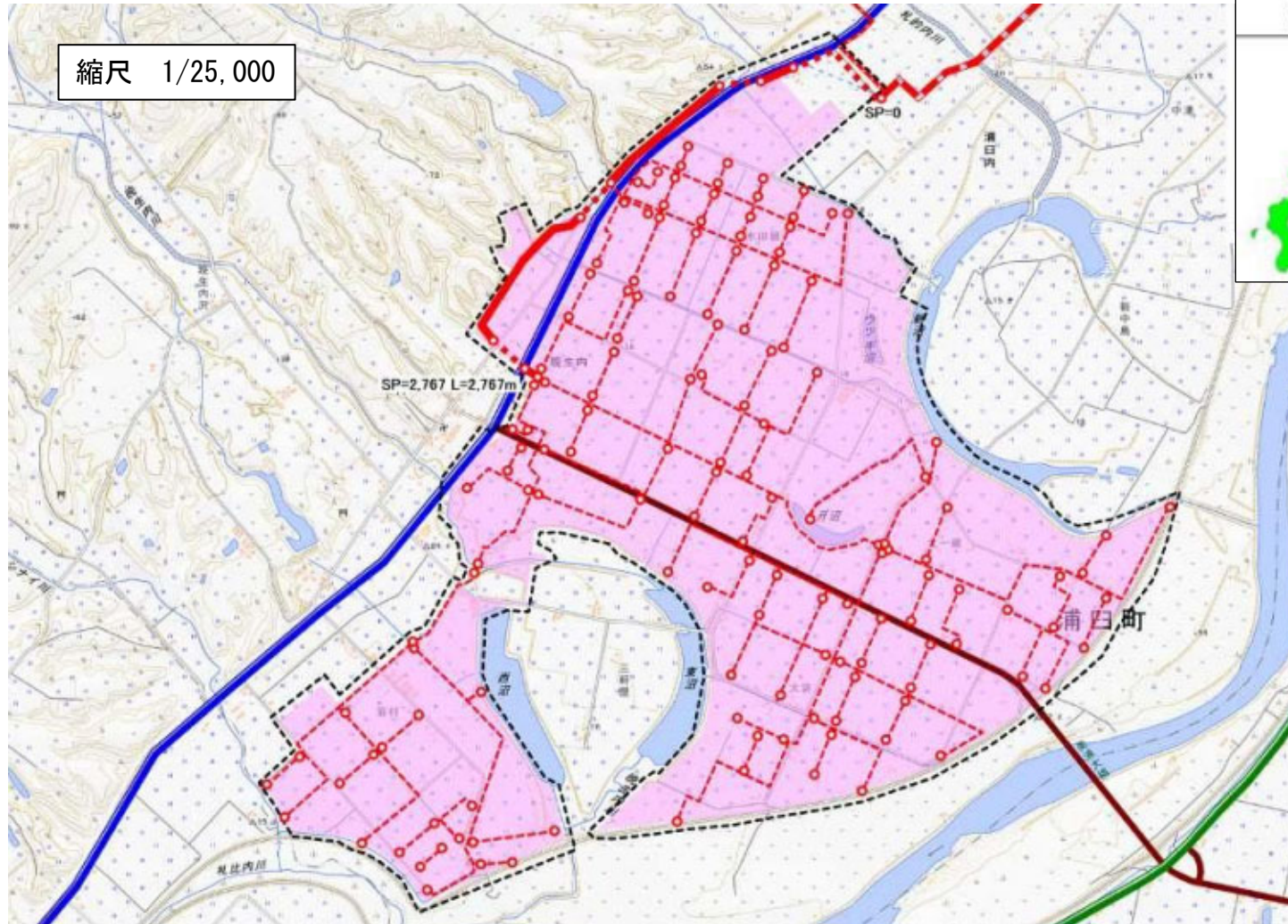
水利施設等保全高度化事業（水利施設整備事業） 道営幹線地区

縮尺 1/25,000

位 置 図



凡 例	
	地区界
	国道
	主要道道
	一般道道
	幹線用水路
	計画用水路
	計画用水路 (不施工)
	既設用水路
	受益地・田



地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業	地区名	高穂西 <small>たかほにし</small>	
関係市町村	北海道雨竜郡沼田町 <small>うりゅうぐんぬまたちょう</small>	事業主体	北海道	
事業目的	<p>本地区は、北海道雨竜郡沼田町に位置し、雨竜川流域に広がる農業地帯であり、水稻を中心として小麦のほか、ブロッコリーやトマトなどの野菜類やメロンの作付けも行われている。</p> <p>かんがい用水の取水源は国営事業により整備された沼田ダム及び鷹泊ダム<small>たかどまり</small>で、地区内の農業用排水施設は昭和 40 年代に道営事業によって造成され、現在に至るまで沼田町土地改良区により適切に維持管理されてきた。</p> <p>しかし、供用開始から 50 年以上が経過しており老朽化が著しく、草刈りや土砂除去などの恒常的な維持管理作業のほか、目地からの漏水などの補修に係る労力は年々増加傾向にある。またこれに加えて、地区内の一部では 50a 程度の区画も未だに残っており、大型機械導入及び効率的な営農の妨げとなっている。</p> <p>このため、本事業により地区内の用水路を末端まで管路化することで、水管理に係る負担を抜本的に改善するとともに、区画整理による大区画化や暗渠排水及び排水路の整備によって生産性の高い優良農地を確保することで担い手への農地集積を図る。</p>			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	76ha	10 戸	2,381 百万円	令和 8～16 年度
	主要工事	農業用排水施設 用水路 6km、排水路 1km 区画整理 22ha		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B/C	算定方式
	3,957 百万円	2,533 百万円	1.56	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：高穂西地区土地改良事業計画概要書（北海道空知総合振興局産業振興部調整課作成）

（注）総費用とは、当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用を、評価年度における価値で評価した額である。

地区別事業概要

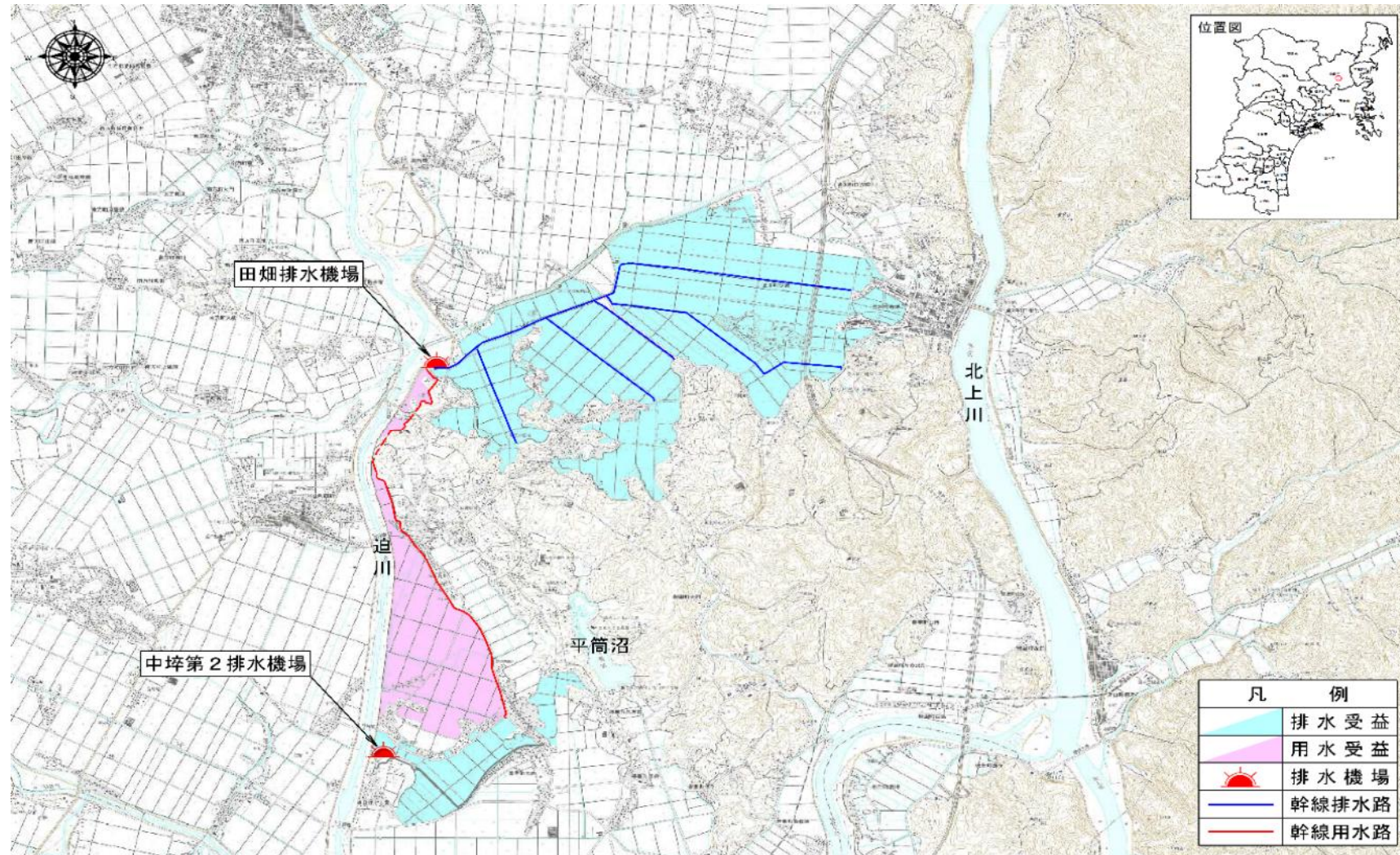
事業名	水利施設等保全高度化事業	地区名	たばた ^な なかぞね ^だ い ² 田畑・中埜第2	
関係市町村	宮城県登米市	事業主体	宮城県	
事業目的	<p>本地区は、宮城県登米市のほぼ中央部に位置し、登米市を縦断する一級河川^はまがわ^わ 追川の左岸に位置し、水稻を中心とした営農が展開されている低平水田地帯であり、水田1,105haを受益とする登米吉田土地改良区が管理する排水機場である。</p> <p>施設造成から田畑排水機場は50年以上、中埜第2排水機場は40年以上が経過し耐用年数を超過しており、経年劣化によりポンプ設備等に不具合が発生している。</p> <p>また、令和元年度に機能診断調査を行った結果、施設全体の劣化が著しく、原動機は点検整備を行っても油漏れが直らず、部品供給も困難で早期の更新が必要となっている。</p> <p>また、排水機能低下により、受益農地及び農業用施設のほか、指定避難所へ続く市道に冠水が生じるおそれがあり、農業生産はもとより地域住民の生活に不安があることから、地域振興上、必要な事業である。</p> <p>このため、本事業により排水機場を更新することで農業水利施設の長寿命化を図り、本地域の農村地域の防災力の維持を図るものである。</p>			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	1,105ha	998戸	1,682百万円	令和8～15年度
	主要工事	排水機場 2箇所		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B/C	算定方式
	9,156百万円	6,991百万円	1.30	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：田畑・中埜第2地区土地改良事業計画概要書（宮城県農政部農村振興課作成）

（注）総費用とは、当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用を、評価年度における価値で評価した額である。

概 要 図

水利施設等保全高度化事業 田畑・中埜第2地区



地区別事業概要

事業名	水利施設等保全高度化事業		地区名	おしきり 押切
関係市町村	山形県酒田市、三川町 <small>さかたし みかわまち</small>		事業主体	山形県
事業目的	<p>本地区は、山形県北西部の酒田市及び三川町に位置し、一級河川赤川<small>あかがわ</small>の右岸に広がる水田地帯である。</p> <p>本地区の対象施設である3つの揚水機場は、いずれも県営事業により昭和53～55年に造成され、それぞれ40年以上が経過しており、建屋では壁面のひび割れや漏水、ポンプ・電気設備では耐用年数の超過、発錆、腐食などの老朽化が進行している。このまま放置した場合は施設の故障により受益地への用水供給が不可能となり、地域の営農に大きな影響を及ぼすことが懸念される。</p> <p>このため、機能保全計画に基づく施設の保全対策を実施し、施設の長寿命化と農業用水の安定供給を図る。</p>			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	484ha	175戸	1,519百万円	令和8～14年度
	主要工事	揚水機場 3箇所		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B/C	算定方式
	8,516百万円	4,295百万円	1.98	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：押切地区土地改良事業計画概要書（山形県農林水産部農村計画課作成）

（注）総費用とは、当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用を、評価年度における価値で評価した額である。

概要図

水利施設等保全高度化事業 押切地区

